

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：奈良井]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

平成19年度 病害虫発生予察情報 特殊報第1号

平成19年7月26日

島根県

1 病害虫名 : アワダチソウグンバイ *Corythucha marmorata*(Uhler).

2 発生物種 : キク

3 発生確認場所 : 松江市及び出雲市 (露地ギク栽培圃場)

4 発生確認の経緯

1) 平成19年7月9日に松江市の露地ギク栽培圃場においてグンバイムシの寄生を確認した。採集した成虫を神戸植物防疫所に同定を依頼した結果、アワダチソウグンバイとの連絡があった。その後、出雲市の露地ギク栽培圃場 (農業技術センター内) においても発生を確認した。

2) 本種は北米原産の侵入害虫で、国内では平成12年に兵庫県西宮市のセイタカアワダチソウで初確認されている。近畿・中国・四国地区では本県の他に10府県 (平成19年7月25日現在) で農作物における発生が確認されている。

5 形態及び生態

成虫は体長が約3mmで相撲の行司が使う軍配に似た形状をしている (図1参照)。前翅に多数の褐色斑紋があり、周縁には小棘が列生することから他のグンバイムシ類と区別できる。幼虫は全身褐色の紡錘形をしており、集団で生活していることが多い。

6 被害の特徴

成幼虫は主に葉裏に生息し、これらの吸汁により、葉表に白いかすり状の白斑点が生ずると共に葉裏には黒い粘液状の排泄物が見られる (図2参照)。被害が甚だしい場合は葉全体が白化し、枯死に至る場合もある。

7 寄主植物

キクやヒマワリ、セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨモギ、ブタクサなどのキク科やアメリカンブルー、サツマイモ、ナスで発生が確認されている。

8 防除対策

1) 圃場周辺のセイタカアワダチソウやブタクサなどのキク科雑草は重要な発生源となるので早期に除草する

2) 薬剤による防除としてキクにはコテツフロアブル2000倍 (発生初期/2回) を発生時期に散布する。



図1 アワダチソウグンバイ成虫



A : 葉表



B : 葉裏

図2 キクの被害状況